

<b>研究課題名</b>	胸腔鏡下肺癌手術における周術期鎮痛と術後合併症発生率の後方視的検討
<b>研究の意義・目的</b>	胸部外科手術は腹部外科手術と比較して鎮痛方法が難しいと言われていますが、現在最も一般的に用いられているのは硬膜外麻酔という鎮痛方法です。しかしある一定の割合で合併症も起こります。近年、肋間神経ブロックと点滴からの鎮痛方法も有効との報告もあります。本研究ではこの2つの鎮痛方法が術後合併症発生率に関連しているかを過去の診療情報も用いて検討します。本研究によって術後鎮痛法の安全性を確立することができたらより良い周術期の疼痛管理につながります。
<b>研究を行う期間</b>	機関の長の実施の許可日 ~ 2025年3月
<b>研究協力をお願いしたい方(対象者)</b>	2020年4月~2023年3月に大阪公立大学医学部附属病院で胸腔鏡下肺癌手術を受けられた方が対象となります。
<b>協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目</b>	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：【患者基本情報：年齢、性別、診断名、既往歴、併存疾患、内服薬 術中評価項目：術中血圧、術中輸液量、術中輸血量、出血量、手術時間、麻酔時間、オピオイド使用量 術後評価項目：手術当日・翌日・術後3日目の疼痛スコア、術後合併症の有無、入院日数、術後鎮痛薬使用量】
<b>試料・情報を利用する者の範囲</b>	この研究は大阪公立大学医学部附属病院麻酔科のみで行います。
<b>試料・情報の管理について責任を有する者の研究機関の名称</b>	公立大学法人大阪、大阪公立大学医学部附属病院
<b>本研究の利益相反</b>	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
<b>研究に協力をしたくない場合</b>	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
<b>連絡先</b>	大阪公立大学大学院医学研究科 麻酔科学 (担当者氏名) 木村 文 電話番号：(06) 6645-2186 メールアドレス：h21085y@omu.ac.jp